



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ

コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 北村 誠 (TEL) 03-6361-7100

四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	75,302	7.4	10,211	△12.6	12,675	△20.6	9,005	△24.3
2023年3月期第2四半期	70,107	10.5	11,677	△0.1	15,965	19.1	11,889	19.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 18,297百万円 (△20.6%) 2023年3月期第2四半期 23,042百万円 (53.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	118.38	—
2023年3月期第2四半期	155.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	416,840	288,920	63.5
2023年3月期	396,813	272,246	63.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 264,821百万円 2023年3月期 252,046百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注2) 配当予想の修正につきましては、本日(2023年11月7日)公表の「資本政策の基本方針と株主還元方針の改定および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,500	7.5	18,000	△13.9	18,600	△20.7	13,000	△21.1	171.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
(注) 詳細は、添付資料の10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	76,758,362株	2023年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	831,774株	2023年3月期	367,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	76,066,527株	2023年3月期2Q	76,477,159株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しております。これに伴い、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりとなりました。

[ 連結業績 ]

(単位：百万円)

	2022年 第2四半期	2023年 第2四半期	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	70,107	75,302	+5,195 (+7.4%)
国内事業	62,922	66,131	+3,208 (+5.1%)
中国事業	7,184	9,171	+1,986 (+27.7%)
売上原価	35,297	40,877	+5,580 (+15.8%)
販売費及び一般管理費	23,132	24,213	+1,081 (+4.7%)
営業利益	11,677	10,211	△1,465 (△12.6%)
国内事業	11,765	10,426	△1,339 (△11.4%)
中国事業	△87	△214	△126 (-)
経常利益	15,965	12,675	△3,290 (△20.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,889	9,005	△2,884 (△24.3%)

売上高は、前年同期と比べ7.4%増加し、75,302百万円となりました。

国内事業の売上高は、前年同期と比べ5.1%増加し、66,131百万円となりました。医療用漢方製剤129処方の売上高は、循環器領域や不安・不眠・めまい等に関連する処方が継続して伸長した結果、前年同期と比べ5.9%増加しました。育薬処方<sup>\*1</sup>の合計は、前年同期と比べ0.9%増加し、Growing処方<sup>\*2</sup>の合計は、前年同期と比べ6.4%増加しました。

[ 育薬・Growing処方の売上高 ]

(単位：百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2022年 第2四半期	2023年 第2四半期	前年同期比	
育薬処方	1	100 大建中湯	4,927	4,937	+9	+0.2%
	3	54 抑肝散	3,775	3,819	+43	+1.2%
	4	43 六君子湯	3,698	3,685	△12	△0.3%
	9	107 牛車腎気丸	1,755	1,836	+80	+4.6%
	24	14 半夏瀉心湯	708	716	+8	+1.2%
育薬処方合計			14,865	14,996	+130	+0.9%
Growing処方	2	41 補中益気湯	4,060	4,109	+48	+1.2%
	5	17 五苓散	3,198	3,674	+476	+14.9%
	6	24 加味逍遙散	2,583	2,578	△5	△0.2%
	16	137 加味帰脾湯	1,013	1,161	+148	+14.6%
	17	108 人参養栄湯	1,034	1,127	+92	+9.0%
Growing処方合計			11,890	12,650	+760	+6.4%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			33,435	36,074	+2,638	+7.9%
医療用漢方製剤129処方合計			60,191	63,720	+3,528	+5.9%

また、国内事業の一般用漢方製剤等の売上高は、風邪症状に関連する処方等の品薄の状況が継続している影響により、前年同期と比べ12.6%減少し、1,751百万円となりました。

中国事業の売上高は、原料生薬と飲片（刻み生薬）の販売を中心とする生薬プラットフォーム（平安津村薬業有限公司、深セン津村薬業有限公司等）の売上高が大きく伸長した結果、前年同期と比べ27.7%増加の9,171百万円となりました。

売上原価は、売上高の伸長と原料生薬調達コストの上昇、エネルギー・原資材価格の高止まりの継続、円安の影響等により前年同期と比べ15.8%増加し、40,877百万円となりました。売上原価率は、前年同期と比べ4.0ポイント上昇し、54.3%となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ4.7%増加し、24,213百万円となりました。主に研究開発費及び漢方バリューチェーンのDX化に向けたシステム関連費用の増加によるものです。販管費率は、前年同期と比べ0.8ポイント低下し、32.2%となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期と比べ12.6%減少し、10,211百万円となりました。営業利益率は、前年同期と比べ3.1ポイント低下し、13.6%となりました。経常利益は、為替差益の減少もあり、前年同期と比べ20.6%減少し、12,675百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ24.3%減少し、9,005百万円となりました。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン収載を目指す処方

[ 限定出荷の状況について ]

医療用漢方製剤129処方では、2023年7月31日にすべての品目の限定出荷を解除いたしましたが、その後、コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行及び鎮咳薬の供給不安により漢方製剤へ想定以上の需要が発生したことから、一部処方を出荷停止・限定出荷にしております。本件による連結業績に与える影響は軽微であります。増産体制の確保、生産計画の調整により限定出荷の解除を順次行っていきます。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は416,840百万円で、前連結会計年度末に比べて20,027百万円の増加となりました。流動資産は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて10,940百万円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産、無形固定資産及び投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べて9,086百万円の増加となりました。

負債合計は127,920百万円で、前連結会計年度末に比べて3,353百万円の増加となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,705百万円の増加となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて647百万円の増加となりました。

純資産合計は288,920百万円で、前連結会計年度末に比べて16,673百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて5,240百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて7,534百万円の増加となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて3,899百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様の63.5%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、81,285百万円となり、前連結会計年度末と比べて13,444百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況と、前年同期に対するキャッシュ・フローの増減は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、601百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益12,655百万円、支出項目では棚卸資産の増加額7,641百万円、法人税等の支払額3,101百万円であります。前年同期との比較では、9,087百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14,080百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出7,572百万円であります。前年同期との比較では、6,012百万円支出が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,694百万円の支出となりました。主な内訳は、非支配株主からの払込みによる収入2,158百万円、自己株式の取得による支出1,316百万円、配当金の支払額による支出2,449百万円であります。前年同期との比較では、28,687百万円支出が増加しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日に公表しました2024年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、2023年7月31日に公表しました『平安津村有限公司による陝西紫光辰濟薬業有限公司の持分譲渡に関する契約締結のお知らせ』に記載のとおり、2023年7月31日付で陝西紫光辰濟薬業有限公司の持分譲渡を行っております。

中国事業においては、今後も、原料生薬・飲片、中成薬、大健康（薬食同源の健康食品・機能性食品等）事業を通じて「中国国民の健康に貢献する」ことを目指し、引き続き企業価値の向上に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	94,752	81,314
受取手形及び売掛金	58,087	65,883
商品及び製品	11,257	12,499
仕掛品	14,430	18,525
原材料及び貯蔵品	76,038	81,406
その他	13,933	19,852
貸倒引当金	△178	△222
流動資産合計	268,320	279,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	91,197	94,444
その他	107,260	111,865
減価償却累計額	△105,042	△110,062
有形固定資産合計	93,415	96,247
無形固定資産		
のれん	8,480	8,616
その他	6,166	7,885
無形固定資産合計	14,647	16,501
投資その他の資産		
投資有価証券	11,160	15,242
退職給付に係る資産	2,518	2,737
その他	6,750	6,850
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	20,429	24,830
固定資産合計	128,492	137,579
資産合計	396,813	416,840
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,443	17,598
短期借入金	10,313	10,313
未払法人税等	3,233	3,557
その他	17,214	18,442
流動負債合計	47,205	49,910
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	9,377	9,377
退職給付に係る負債	59	56
従業員株式給付引当金	—	209
役員株式給付引当金	111	166
その他	7,814	8,199
固定負債合計	77,361	78,009
負債合計	124,566	127,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	13,739	13,739
利益剰余金	194,224	200,780
自己株式	△1,068	△2,384
株主資本合計	237,037	242,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,647	5,474
繰延ヘッジ損益	29	987
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	10,455	14,186
退職給付に係る調整累計額	△796	△778
その他の包括利益累計額合計	15,008	22,543
非支配株主持分	20,199	24,098
純資産合計	272,246	288,920
負債純資産合計	396,813	416,840



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	70,107	75,302
売上原価	35,297	40,877
売上総利益	34,809	34,425
販売費及び一般管理費	23,132	24,213
営業利益	11,677	10,211
営業外収益		
受取利息	247	391
受取配当金	137	144
為替差益	3,950	1,980
その他	208	166
営業外収益合計	4,543	2,683
営業外費用		
支払利息	92	195
社債発行費	142	—
その他	19	23
営業外費用合計	255	219
経常利益	15,965	12,675
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	25	20
新型コロナウイルス関連損失	252	—
特別損失合計	278	20
税金等調整前四半期純利益	15,690	12,655
法人税等	3,649	3,002
四半期純利益	12,041	9,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	152	647
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,889	9,005

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	12,041	9,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△285	2,827
繰延ヘッジ損益	△270	957
為替換算調整勘定	11,489	4,841
退職給付に係る調整額	1	17
持分法適用会社に対する持分相当額	65	—
その他の包括利益合計	11,001	8,644
四半期包括利益	23,042	18,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,271	16,539
非支配株主に係る四半期包括利益	2,770	1,758

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	15,690	12,655
減価償却費	4,980	4,928
のれん償却額	248	254
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	35
受取利息及び受取配当金	△384	△536
支払利息	92	195
社債発行費	142	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	22	19
売上債権の増減額(△は増加)	△2,500	△7,141
棚卸資産の増減額(△は増加)	△490	△7,641
仕入債務の増減額(△は減少)	554	451
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△218	△198
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	2
その他	△5,543	281
小計	12,604	3,307
利息及び配当金の受取額	368	555
利息の支払額	△100	△160
法人税等の支払額	△3,183	△3,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,688	601
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	13	—
有形固定資産の取得による支出	△6,701	△7,572
有形固定資産の売却による収入	18	5
無形固定資産の取得による支出	△1,071	△1,514
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,334	△5,495
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,328	778
貸付けによる支出	△171	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△149	△281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,067	△14,080
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の発行による収入	29,857	—
自己株式の取得による支出	△445	△1,316
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,158
配当金の支払額	△2,447	△2,449
非支配株主への配当金の支払額	—	△40
その他	28	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,992	△1,694
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,262	1,729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32,876	△13,444
現金及び現金同等物の期首残高	67,536	94,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	100,412	81,285

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）または流動負債（その他）として繰り延べております。